

各事業部の事業計画(要点)

池袋ほんちょうの郷事業部

特養 ご利用者の健康管理を多職種協働で行い、常時 95%の利用率を確保しながら地域に根差した施設基盤を構築するとともに、ご利用者個々の暮らしの継続とその先にある看取りケアを見据えて各セクションが相互に連携してニーズに応えられる介護サービスを実践します。

通所介護・訪問介護 住み慣れた地域で生活が継続できるよう、ICT を活用して多職種間での情報交換を進めるとともに、ご利用者が意欲を保てる多様なサービスを提供します。

地域包括支援センター 新しい生活様式「ウイズコロナ」を踏まえ、ご高齢の方が住み慣れた地域で自立した生活ができるように見守り体制を充実します。

居宅介護支援 事業所全体のスキルを向上させることにより、より多くのご高齢の方に適切な支援を提供できるようにします。

山吹の里事業部

特養 行政や他の特養と連携して待機されている方の情報の精度を上げながら、施設の受入れ環境を可能な限り整えて利用率 95%を確保していきます。また、入院されたご利用者が長期入院に至らないよう早期に受診するなど、医療機関やご家族との連携強化に取り組みます。

通所介護 個別機能訓練プログラムの提供に取り組み、在宅生活の継続を目指します。

高田介護予防センター 介護予防・フレイル予防の拠点としての活動を更に充実します。

居宅介護支援 事業所内で研修等の内容を共有し、ケアプランの質を向上します。

デイ事業部

千川豊寿園 個別ニーズに対応したプログラムの充実と、災害対策に向けて地域との連携強化を図ります。

長崎いずみの郷 ご利用者の在宅生活に繋がる柔軟なサービス対応と、認知症カフェ等を通じて地域への情報発信をしていきます。

地域包括支援センター 地域にお住まいの方々が健康で自立した生活を続けられるよう、フレイル予防などに積極的に参加できる環境づくりを進めるとともに、ご高齢の方やそのご家族を地域全体で支えられる仕組みづくりに努めます。

中野事業部

通所介護 在宅生活を支える拠点として、管理栄養士や理学療法士など多職種との連携を強化します。

認知症対応型共同生活介護 感染症予防に配慮しながらご利用者が安心して楽しく生活できるよう活動を組み立てます。

地域包括支援センター 感染防止対策として多様な相談体制の充実とともに、複合的な課題のある方への支援を通して、関係機関と連携して地域の課題解決力を向上します。

居宅介護支援 地域包括支援センターや高齢者会館の併設により相談が入りやすい環境を活かして対応していきます。また、医療連携により重度の方やそのご家族を支援します。

高齢者会館 自発的な健康づくりや介護予防事業の身近な地域拠点としての機能を充実します。

いけぶくろ茜の里事業部

施設入所支援 ご利用者が安心して生活できる環境を提供しながら、障害特性や高齢化に配慮した質の高いサービスを目指します。

生活介護 笑顔で楽しみながら取り組める個別活動を展開し、サービスの継続性を保ちます。

就労移行支援 障害特性に配慮したプログラムを拡充します。

就労継続支援(B型) パン工房を中心とした安定的な作業環境を整えます。

就労定着支援 継続的な繋がりを意識した対面支援とICTを活用した交流方法を検討します。

共同生活援助 ご利用者の意思及び人格を尊重し、居心地の良い生活の場を提供します。

特定相談支援 チームの支援を実践し、ご本人の希望と社会資源を適切に繋いでいきます。

文京くすのきの郷事業部

特養 大規模改修工事中でも95%の利用率を確保して安定した運営を確立します。また、スキルアップ等の人材育成を進め、職員の定着を図ります。

通所介護 改修工事により仮設で行うサービスが2フロアに分かれているため、フロア間の連携を強化するとともに、機能訓練に力を入れた活動を実施します。

居宅介護支援 総合的な視点に立って、その方に合ったケアプランを作成していきます。